

伏見工業高等学校跡地及び元南部配水管理課用地の活用に係る
優先交渉事業者選定委員会 第1回委員会
摘録

【日時】

令和5年6月1日（木）午後2時～午後3時30分

【場所】

京都市役所本庁舎1階 本庁舎第2会議室

【出席者】

（五十音順、敬称略）

氏 名	職名等
一原 雅子	市民公募委員
伊庭 千恵美	京都大学大学院工学研究科准教授
小杉 隆信	立命館大学政策科学部教授
佐藤 陽子	公認会計士
白須 正	龍谷大学研究フェロー 伏見稲荷周辺の住みよいまちづくり推進協議会顧問
渡邊 天	砂川学区市政協力委員連絡協議会会長

【摘録】

1 開会、挨拶、委員の紹介

2 委員長の選任

- ・佐藤委員の推薦により、白須委員が委員長に就任
- ・白須委員長により、小杉委員を職務代理者に指名

3 審議

（1）募集要項（案）について（（2）を除く要項全般） 公開部分

委 員 町並み型建造物修景地区において、太陽光パネルの設置に関し、景

観上の制限等はあるか。

事務局 町並み型建造物修景地区において特別な制限はなく、「太陽光パネルの景観に関する運用基準」の共通基準に該当する。

委 員 別紙2 5街区の運営体制の「2030年を越える長期的な維持管理や運営体制の構築」について、「長期的」として期待されているのは有期的なものか半永久的なものか。

事務局 2030年度は「脱炭素先行地域」の目標年度であるため、そこまでの維持管理や運営体制の構築については示していただきつつ、それ以降についても、事業者からの長期にわたる提案を期待している。

委 員 京都市の脱炭素先行地域計画に「京都の文化・暮らしの脱炭素で地域力を向上させるゼロカーボン古都モデル」とあるように、本事業においても、京都ならではの文化、伝統の観点を評価してはどうか。

事務局 本市の脱炭素先行地域計画は、寺社等の文化遺産の脱炭素転換も含んだものとしてテーマを設定しているものである。
事務局としては本事業においても文化の視点は重要であると認識しており、別紙2 6(3)で記載する、本市の掲げる「都市の成長戦略」において、「文化と経済の好循環を創出する都市」という項目もあるように、これらを踏まえて活用計画を提案いただくものとしている。

委 員 若者子育て世代の定住促進も重要であるが、高齢者にとって高断熱住宅はヒートショック対策にもなるので、もっと多世代に脱炭素街区をアピールしてはどうか。

事務局 別紙2 2の「住民の暮らしの質の向上」として、若者世代だけでなく、あらゆる世代に向けて、健康の増進や安心安全のまちづくりを提案いただくこととしている。

委 員 エネルギーマネジメントについて、設計上のゼロエネルギーが達成できる街区であっても、実際に住みはじめてからのゼロエネルギーが達成できているかの検証が重要であると考えているが、そういったモニタリングは行っていくのか。

事務局 住民が住み始めてからのゼロエネルギー達成の成果公表も見据え、事業者と連携し取り組んでいきたい。

- 委 員 脱炭素だけでなく、若者子育て世代の定住促進は市として重要な観点だと思うが、まちづくりを行うに当たって、将来的な観点から、多様な世代がお住まいになることが重要だと思う。
- 事務局 ご指摘のとおり、子育て世代のみであった場合、経年とともに街区全体の高齢化が懸念されるため、多世代に訴求する街区となるよう、事業者からの提案に期待したい。
- 委 員 地元としては、近隣に学校や商業施設があるため、街区においてどのように築道されるか、周辺の交通事情にどのような影響があるかを懸念している。事業者を求める提案内容は、周辺道路環境等に配慮されたものとしていただきたい。
- 事務局 要項でも、交通事情に配慮した計画を提案いただくよう求めているところである。事業者の活用計画の提案を基に協議を重ね、地元の皆さまに極力ご迷惑をお掛けしないような計画としたい。
- 委 員 活用計画はできるだけ多くの事業者に検討いただきたいので、周知広報が重要と考える。報道機関以外にも、事業者にも広く周知いただきたい。

(2) 募集要項(案)について(予定価格(最低売却価格)、審査項目及び審査基準(案)) 非公開部分

4 閉会